



光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ～人と人のつながりがたからもの～

令和8年度 第5号【6月16日】 生駒市立光明中学校 校長 斉藤 稔

修学旅行を実施しました

修学旅行の事前学習では、北海道から講師の satoly 先生をお招きし、平和講演を行っていただきました。看護師として世界各国で活躍されたご経験や、北海道の歴史、北方領土の問題についてのお話を伺うとともに、「平和」という言葉からイメージする絵を生徒一人ひとりが描くという取組も行いました。描かれた作品には、虹や花、鳥、青空、友達、地球などが多く見られ、平和への願いが表れているように感じました。

6月5日から2泊3日で沖縄への修学旅行を実施しました。南国特有の開放的な空気の中、事前学習で描いたイメージの通り、花や鳥、青空が広がる風景に触れ、平和であることを実感する機会となりました。一方で、平和の礎や平和祈念公園、平和祈念資料館、ガンマ体験では、沖縄戦の悲惨な歴史に目を向け、現在の平和の尊さについて改めて考えることができました。

3日間の中で、特に印象に残ったのは、2日目の班別タクシー研修です。ホテルから遠く離れた海岸を目的地とする班に同行する中で、観光地として整えられた沖縄とは異なる、地域の人々の暮らしに根ざした風景に出会うことができました。道中では、一面に広がるさとうきび畑や、赤い屋根瓦の平屋の家々、車どおりの少ない一本道の農道など、静かで穏やかな風景が続いていました。目的地の海岸には人影もほとんどなく、青い海と空が溶け合うようにどこまでも続く水平線が広がり、時間がゆっくりと流れているように感じられました。

こうした景色に触れる中で、生徒たちは沖縄の自然の豊かさや人々の暮らしの姿に気づくだけでなく、前日に学んだ戦争の歴史とも重ね合わせながら、「今この穏やかな風景があること」の意味について考える機会となったように思います。何気ない日常の中にある平和の尊さや、それを守り続けていくことの大切さを、体験を通して感じ取ることができたことは、教科書だけでは得られない大きな学びとなりました。また、班で行程を考え、現地で判断しながら行動する経験そのものが、生徒にとって主体性や協働性を育む貴重な機会ともなりました。

保護者の皆様には、修学旅行の準備をはじめ、早朝からの送迎や帰校時のお迎えなど、多くのご協力をいただき、誠にありがとうございました。現地での活動を通して、生徒たちは仲間との絆を深めるとともに、多くの学びや気づきを得ることができました。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。